

第1日 6月2日(土)

午前の部(9:30-11:30) (研究発表30分 質疑応答15分)

研究発表

① 友井太郎(東京大学大学院) (9:30-10:15)

カトゥッルス67番をめぐって  
——誹謗と洗練の交わる場所——

総会 (10:20-10:40)

② 近藤和貴(拓殖大学准教授) (10:45-11:30)

プラトン『メネクセノス』篇における葬送演説と教育

※ JASCA 編集委員会(会場1階1B)

ポスターセッション(12:20分頃より会場1階図書コーナーで行います)

西岡千尋「関係的なもののアイデア」(『メタフュシカ』A9,990b16, M4,1079a12)  
について」

菊地のどか「前3世紀のファイユームにおけるワイン生産とその体制」

酒嶋恭平「ヘレニズム期アテナイにおける女性の社会的地位に関する一考察」

廣田和真「プルデンティウス『シュンマクス駁論(Contra Symmachum)』につ  
いて」

小山田真帆「前4世紀アテナイにおける性的言説と理想的市民像——法廷弁  
論の分析を中心に——」

午後の部(13:30- )

特別講演 (13:30-14:25)

Elizabeth Craik (The University of St. Andrews),  
Hippocrates, Curriculum Vitae.

シンポジウム (14:30-18:00)

古代ギリシア・ローマ世界における gender equality——理念と現実

※懇親会(18:30- ) 於 レストラン「花の木」(会場北、徒歩3分)  
(会費5000円 学部・大学院生3000円)

(付記 委員会は6月1日午後5時より、会場1階2A+3Aにて行います)

第2日 6月3日(日)

午前の部 (9:30-11:55)

研究発表

- ③ 瀧本みわ(日本学術振興会特別研究員) (9:30-10:15)  
古代末期ローマ帝国の彫像に関する一考察  
——キリスト教国家確立期の文献にみられる異教神像への眼差し——
- ④ 堀尾耕一(一橋大学非常勤講師) (10:20-11:05)  
アリストテレス『弁論術』における論理的説得の二類型
- ⑤ 鷲田睦朗(神戸市外国語大学非常勤講師) (11:10-11:55)  
ローマ共和政後期における地方在住者の政治参加

※書評委員会

哲(会場1階1B)、史(会場1階2B)、文(会場1階2A)、

午後の部 (13:40-16:20)

特別講演 (13:40-14:40)

Matteo Venier (The University of Udine)

Petrarch and Silius Italicus: Survey on a Controversial Topic

- ⑥ 山川偉也(桃山学院大学名誉教授) (14:45-15:30)  
再考パルメニデス断片 1.3
- ⑦ 小川正廣(名古屋大学名誉教授) (15:35-16:20)  
『オデュッセイア』における戦争と平和  
——叙事詩の結末部をめぐって——

閉会の辞

※編集委員会 (17:00-19:00) 会場1階1B